

日本カトリック神学院



はじめに

東京カトリック神学院は主の呼びかけに応え、主のぶどう畑で労苦を惜しまず働くカトリックの教区司祭を養成する場です。

すべての司祭は「キリストの福音の業をこの世の人々に証し、伝え、キリストが定められた秘跡を通して人々に光と力を与え、神に向かって旅する人々の中において彼らと共に歩み、彼らの為に祈る」という使命があります。

ところで司祭にはその働きや所属に応じて修道会司祭、宣教会司祭、教区司祭等の区別があります。当神学院において養成される教区司祭の召命は、司教に結ばれて司祭団の一員となり、信徒、修道者、司祭、司教と協力しながら、信じる人々及び、この社会のすべての人々を対象とした福音宣教を目的とします。教区司祭には、信徒や修道者の召命の意義を十分に理解し、信頼と尊敬の中に互いに協力し神の民全体を豊かにすることが求められます。他の召命を理解し、その召命を生かすことができるような司祭が求められているのです。こうして、教会共同体の中で重要な役割を果たす存在になり、社会の福音化のために働く共同体の魂にもなることができます。

この召命に応えようと心から望み、共同生活を協調してやってゆける人、明るく謙虚な人であれば誰でも教区司祭になる道が開けています。志願者は、カトリックの洗礼を受けて、3年以上の信仰生活を送っている独身の男性であることを要します。教区司祭を希望される方は、まず所属される教会の司祭が特に親しくしている司祭に御相談ください。その司祭の推薦によって、その後司祭として所属する教区の神学生養成担当委員との面接、及び司教の面接後、その司教の推薦に基づき東京カトリック神学院を受験することになります。

入学後の養成期間は6年間です。その間、神学生として共同生活しながら、祈りや黙想、さらに院外の使徒職活動によって自己の召命を深めます。これらのすべての

活動を通して自己を奉献することを学び、召命の確信を深め、将来教区司祭として立つ心構えを育てていきます。

こうした養成の後、教区司祭になる決意を表明し、当神学院院長の推薦を受けた神学生は、所属する司教区の司教の決定に基づき司祭に叙階されます。

東京カトリック神学院からは毎年数名の神学生が司祭として巣立ち、各教区で様々な活動をしています。

主のぶどう畑で働こうとするあなたが、この東京カトリック神学院に来られることを神学院一同お待ちしております。

歴史

東京カトリック神学院は、明治5年（1872年）プティジャン司教の時代に、東京の番町で校長マラン神父の「ラテン学校」として発足しました。この学校は草分け時代の幾多の困難に遭遇し、中断と再開を繰り返しながら、また築地と関口に場所を移しながらも、司祭養成の任務を果たしました。

昭和4年（1929年）、シャンボン大司教の時代に、有能な校長カンドウ神父を得て、石神井村字関の現在地に「聖フランシスコ・ザベリオ大神学校」として確立されます。

その後、戦中戦後のあらゆる苦難を乗り越え、また第2バチカン公会議以後の変動の波の中で暗中模索をしながら、今まで数百名のカトリック司祭を世に送り出してきました。その間、当初から運営の責任を負ったパリ外国宣教会、終戦後から昭和45年まで同じ責任を受け継いだイエズス会、それにローマの布教聖省、フランスの恩人たち、特に戦後はドイツのケルン教区の並々ならぬ努力、援助のもとに日本における司祭養成の活動が続けられてきたのです。

昭和26年には福岡にサン・スルピス大神学校が創立され、長崎、福岡、大分、鹿児島、沖縄の5教区における司祭養成の任に当たっています。

昭和45年（1970年）以来、東京カトリック神学院は日本カトリック司教団によって直接運営され、札幌、仙台、新潟、さいたま、東京、横浜、名古屋、京都、大坂、高松、広島のみならず、11教区の司祭を養成する神学校となっています。現在、院長平田豊彦神父を含む5名の教区司祭がモデラートルとして直接養成にたずさわっています。そのうち4名が東京の神学院、1名が初年度養成のため那須ガリラヤの家を担当しています。またコーペラートルとして学事担当司祭が1名、霊的養成担当司祭が1名、

おもに神学生の知的養成、霊的養成の主任として協力してくださっています。

現在、当神学院に在院の神学生は35名、神学生たちは養成担当司祭と生活を共にしながら、司祭になってからも一生深め続ける主イエスとの共なる生活の基礎を築いていきます。神学院での養成では、志願者たちの心に「主イエスへの愛」とともに、「主イエスの教会」への全き奉獻の精神が、深く根付くことが求められます。また将来の日本に於ける宣教司牧活動を精力的に推し進めることができるように、哲学と神学の専門的知識と、司牧活動に求められる実際的能力を身につけるように特別に配慮しています。（2007年度版『入学審査要綱』より）

日本カトリック神学院 東京キャンパス

〒177-0052 東京都練馬区関町東2-7-10

TEL☎03-3920-2121

FAX☎03-5991-0605